

一般質問



石田ちひろ 議員 (共産)

選択的夫婦別姓の実現、LGBTアライの広がりで、誰もが自分らしくありのままに

① 選択的夫婦別姓の実現を。
 ② LGBTについて⑦学校での専門図書やポスターの掲示を。①子どもや社会人への相談窓口の設置を。⑦パトナーシップ制度等の検討組織の立ち上げを。⑤トイレや更衣室等を安心して使えるよう、環境整備を。③ LGBTを理由に⑦職員採用を拒むことはあるか。①職員の福利厚生に差別はないか。

区長 ①国が対応する事柄と考える。②⑦国や都の動向を踏まえ研究していく。①学校では巡回相談員が対応する。性的マイノリティーの人権相談は、人権啓発課の既存の相談窓口で対応している。⑦これまででも相談や要請等はないため考えていない。⑤スペース的な課題もあるが、利用の工夫等も含め、研究していく。③⑦採用を拒むことは一切ない。①相談等があれば関係団体と協議していく。

1500万円かけたリオ五輪視察はムダ遣い 東京五輪に向け日常的な文化・スポーツの環境づくりこそ

① 1千500万円の税金をかけ、開催中の現地でなければ確認できなかったことは何か。②東京オリンピックの機運醸成のため⑦文化やスポー

の保育責任を投げ出す保育園の民営化はやめるべきでは。子ども未来部長 ①皆様に意を尽くして説明し、合意解除と丁寧な引継ぎに理解いただいている。②絵本や備品の追加購入、成長を記録する様式類の変更、グループ保育など。③新事業者は配置を確保しており、不履行の場合は違約金を徴収する。④期間を限定して保育人材を確保し、効率的な運営を図るには民間活力が不可欠だと考える。⑤区として報告書を提出する考えはない。⑥民間活力の導入が自治体の責任放棄とは考えていない。

区長公約先送りは許されない 来年4月待機児童ゼロを

①認可保育園を希望し入園できなかった971人の内訳は。②待機児童が解消しない原因は。③民営化や民間誘致では待機児童は解消しない。区立保育園はつくらない方針の転換を。④国有地等の用地を確保し、区立保育園増設を。⑤認可外保育施設への財政支援等を。

子ども未来部長 ①認証保育所が324人、転園できず在籍園での継続が178人、退職や育児休業の継続等の数は把握していない。②乳幼児人口が前年より80人以上増えるなど、区の待機児童対策への期待の高まりと考える。③公設保育園の整備は最短でも3年を要するため、現下の待機児童対策に有効ではない。④引き続き用地情報に注視し、関係機関に働きかけていく。⑤総合的な待機児童対策の中で検討していく。

区立ひろまち保育園の民営化、夢工房による運営に疑義 徹底した真相説明を

①事業者交代を引き起こした反省が伝わるよう、保護者議会への謝罪を求める。②開設当初から改善を求めたことは何か。③新事業者が看護師を配置しない場合の区の一定の対応とは。④リスクがあるのに業務委託するのはなぜか。⑤ひろまち保育園の一連の問題を明らかにした区の調査報告書の提出を。⑥地方自治体



いながわ貴之 議員 (民・無)

区内企業とのまちづくり連携について

① 広町J.R社宅跡地について⑦区有地と一体的に整備しては。①暫定利用として、東京オリンピック・パラリンピックに関連する施設の誘致も有益と考えるが、所見を。②ニコソ大井製作所の跡地利用について⑦区は何らかのアプローチをしているのか。①歩道や隅切りの協力を促すことも必要では。③区内企業の建てかえ等の機会に、まちづくりについて協力を仰いでいる。

区長 ①今後、庁舎のあり方などと同時に、様々な可能性も含めた検討が必要と考えている。①暫定利用については、地域からも様々な要望が出ると思われるため、連携して対応することをJRに要望している。②⑦引き続き情報収集を行い、今後の動向を注視していく。①可能な限り協力を求めていく。③個別の立地条件等の状況に応じ、必要な指導や区の施策への協力を求めていく。

子ども未来部長 ①認証保育所が324人、転園できず在籍園での継続が178人、退職や育児休業の継続等の数は把握していない。②乳幼児人口が前年より80人以上増えるなど、区の待機児童対策への期待の高まりと考える。③公設保育園の整備は最短でも3年を要するため、現下の待機児童対策に有効ではない。④引き続き用地情報に注視し、関係機関に働きかけていく。⑤総合的な待機児童対策の中で検討していく。

戦略的都市型観光について

① 区独自の観光マーケティング調査の実施を。②観光SNSは、外国人観光客にターゲットを絞った情報発信が必要では。③2020年に向けたWiFi環境の整備は行政の喫緊の課題とも言えるが、都市型観光の視点で整備を進める必要があるのでは。④競技場周辺や最寄り駅等に臨時のWiFiスポットの整備が必要では。⑤飲食店等における外国人観光客へのおもてなしについて⑦メニューの多言語化やハラルの提供等に積極的な店に対して、支援を行う必要があるのでは。①外国人観光客への対応に躊躇している店に対して、対応講座を開講することも必要では。⑥シェアサイクルの導入について⑦都市型観光を推進するため、既に社会実験を行っている行政と連携しては。①他区で参入している民間企業等が区内でもスムーズに事業展開できるように、自転車推奨ルートの活用やサイクルステーションの環境整備を。⑦ICT技術を活用した自転車シェアリングの普及促進事業に、区も積極的に取り組んでいく。

区長 ①今後、庁舎のあり方などと同時に、様々な可能性も含めた検討が必要と考えている。①暫定利用については、地域からも様々な要望が出ると思われるため、連携して対応することをJRに要望している。②⑦引き続き情報収集を行い、今後の動向を注視していく。①可能な限り協力を求めていく。③個別の立地条件等の状況に応じ、必要な指導や区の施策への協力を求めていく。

子ども未来部長 ①認証保育所が324人、転園できず在籍園での継続が178人、退職や育児休業の継続等の数は把握していない。②乳幼児人口が前年より80人以上増えるなど、区の待機児童対策への期待の高まりと考える。③公設保育園の整備は最短でも3年を要するため、現下の待機児童対策に有効ではない。④引き続き用地情報に注視し、関係機関に働きかけていく。⑤総合的な待機児童対策の中で検討していく。

①設置箇所の拡充を図っていく。④最寄り駅付近への整備のあり方についても、都の動きも踏まえ検討していく。⑤⑦英語少し通じます商店街プロジェクト等、商店街への支援を通じ、おもてなし機運の醸成を図ってきた。今後は、文化や習慣への対応も必要であり、区商連等と連携し検討していく。⑥⑦近隣区との連携も視野に、主に臨海部を対象とした推奨ルートを検討している。①他区におけるシェアサイクルの導入状況や運営形態、ポート設置の考え方を分析・調査し、検討を進めていく。⑦都によるICTを活用した広域連携シェアサイクル事業の補助活用等も視野に入れ、判断していく。

文化スポーツ振興部長 ①区民団体や企業による多くの文化イベントが実施されており、会場調整については必要性を見きわめながら対処していく。②集客とにぎわいの創出の必要性を認識しており、今後も引き続き都に要望していく。

文化スポーツ振興部長 ①オリリンピック・パラリンピック開催中の区の文化・スポーツイベントについて、会場確保や利用調整をどのように考えているのか。②にぎわい創出のため、東京オリンピックのホッケー会場である大井ふ頭中央海浜公園内で、ユースポーツ等様々なイベントを展開しては。

避難訓練を実施しました

品川区議会では平成28年12月7日(水)の本会議終了後、災害発生時の避難行動の確認を目的とした避難訓練を実施しました。

訓練は、本会議中に火災が発生し、傍聴席には介助が必要な車椅子の方がいるという想定で行われ、議員が車椅子の方を介助しながら、順次建物の外に避難しました。その後、区役所内のしながわ防災体験館で要配慮者疑似体験および消火訓練を行いました。

今後も災害発生時の区議会議員の行動のあり方について、検討を進めてまいります。



東京オリンピック・パラリンピックに向けての具体的取組について

①オリリンピック・パラリンピック開催中の区の文化・スポーツイベントについて、会場確保や利用調整をどのように考えているのか。②にぎわい創出のため、東京オリンピックのホッケー会場である大井ふ頭中央海浜公園内で、ユースポーツ等様々なイベントを展開しては。

文化スポーツ振興部長 ①区民団体や企業による多くの文化イベントが実施されており、会場調整については必要性を見きわめながら対処していく。②集客とにぎわいの創出の必要性を認識しており、今後も引き続き都に要望していく。